

2020 年 4 月 25 日

助成事業実施報告書

団体名.....一般社団法人財政デザイン研究所

代表者・役職名 氏名.....大和田 一紘(代表理事)

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

中学校課程における主権者教育の充実に向けた財政教育プログラムの展開

2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

様々な影響により地方財政及び地方自治の状況が悪化していることを問題意識に持つ研究者や市民が集まり、それらの民主的発展に寄与することを目指し、2009年任意団体発足を発足した。2016年1月には、活動を円滑にするため法人格(一般社団法人)を取得しました。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

選挙権年齢が18歳に引き下げられたことを受け、地方自治を育む主権者教育の必要性が高まっている。その中で、財政の側面からまちづくりについて主体的に学ぶことにより、自分たちが地域の当事者であるという主権者意識を育むことが求められている。このような社会的背景から当法人では2018年に主権者意識を涵養することを目的とした財政副読本の作成を行った。今回のプロジェクトでは作成した副読本を活かした財政教育プログラムを展開し内容の充実を図ることを目的とした。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

① 財政教育プログラムの開発:

多摩地域の市民や教師とともに2018年度真如苑市民活動助成を受けて作成した「財政副読本」を活用した授業プログラムを作成し、立川市の中学校の公民で実施する。多くの市民や教師を巻き込んでいくため、財政教育プログラムの開発に向けて市民や教師とともに学ぶ場(ワークショップ)を企画、実施する。また参加者とともに議論をし、中学生が理解を深められる財政教育プログラムの開発をする。

② 財政教育プログラムの実践

開発した財政教育プログラムは、実際に立川市の中学校で実施(action research)し、実践的課題を明らかにする。

③ 主権者教育における財政の情報公開の方法に関する調査

全国には、主権者教育の充実にむけて、中学生でもわかるよう財政情報の公開を工夫する自治体が多く存在する。それらの実態を調査し、多摩地域の財政に関する主権者(中学生を含む)への情報公開方法に不足している点を明らかにする。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

- ①2020年3月7日に、立川八中において副読本を使った財政教育を実施する予定であったが、小中学校の全国一斉休校要請等により、延期のやむなきに至った。指導案、実施要項など準備は整っているので、翌年度実施の予定。
- ② 2019年10月15日～17日二セコ町の調査を行った。調査報告は別紙参照。
- ③ 2019年9月22日立川財政学習会(参加者15名)、2020年2月22日たちかわ市民交流大学(参加者37名)いずれも立川市民を対象に、財政副読本を使い講座を実施し広く理解を得た。実施内容については別紙参照。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

新型コロナの影響を心配している。昨年度も立川八中での財政教育の実施が延期になったが、今年度予定している実践校の拡大に影響を与えることを懸念する。

7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし

【我がまち立川市の財政を考える】

おとなの中学財政のはなし (立川編)



中学生向けの「中学生のための やさしい
財政のはなし」を作成しました。難しい財
政のはなしを、やさしく解説します。

この教材を使って、立川市の財政状況と特
徴を知って、みんなで考えてみましょう…

・講師：三島 康雄さん

【財政デザイン研究所理事，東京都庁の税財政部門を中心に従事し
東京都人材育成センター教授などを歴任（詳細：裏面参照）】



1. 立川市ってどんなまちだろう・・・
2. 財政って何だろう・・・
3. 私たちの暮らしを支える市の収入はどうなっているの？・・・
4. 私たちの暮らしを支える行政サービスはどうなっているの？・・・
5. 立川市の借金と貯金はどうなっているの？・・・
6. 立川市のお金のやりくりはどうなっているの？・・・
7. 私たちのまちづくりの将来は財政が肝心です…

令和2年2月22日(土) 午後2時～4時 開催

会場：高松学習館

- ・[申 込]：高松学習館（042-527-0014）まで （1月10日（木）～）
- ・[定 員]：30人（申込順）
- ・[受講料]：無料
- ・[保 育]：なし
- ・[資料代]：無料



たちかわ市民交流大学・市民推進委員会主催

〔きらきら☆カード対象講座〕

